

第1回米百俵賞受賞

(平成9年6月15日表彰)

**中野 信隆** (長岡市)



インドネシア・スラバヤ電子工学ポリテクニクの設立と教育指導に尽力するとともに、独自の育英基金制度を創設し、指導的技術者の養成に貢献した。

#### ■受賞時プロフィール

長岡工業高等専門学校教授を定年退職した後、昭和62年に国際協力事業団からインドネシア共和国スラバヤに派遣され、スラバヤ電子工学ポリテクニク（日本の高専にあたる）の設立に尽力するとともに、学校運営法や工業教育法の指導を行うチーフアドバイザーとして活躍した（平成元年、任期満了で帰国）。

学校がスタートして2年ほど経ったころ、経済的に学業を続けられない学生が目立ち始め、「優秀な学生が退学していくのは教師として見るに忍びない」と中野氏を中心とした人たちが資金を出

し合って総額約200万円の育英基金を創設。すでに帰国した教師たちからも寄附が集まり、「日本・インドネシア友好育英基金」として財団法人による運営が開始された。

この基金により、平成8年までに300人を超える学生を支援し続け、母国インドネシアの発展に貢献する人材を次々と輩出した。



▲スラバヤ電子工学ポリテクニク  
(ながおか市政だより平成9年4月号より)